

○平成25年度教員免許状更新講習事後アンケート 自由記述

科目番号: 11041

科目名: 「生きる力」を育むこれからの学校教育

開設日: 平成25年7月27日(土)～28日(日)

No	学校種	回答
1	中学校	不登校生徒の対応や教職員としてのこれからの生き方について考えさせられた二日間でした。特に不登校の対応については、様々な対応をしてきたのですが、本人がメンタル面での調整をしていたり、何かに自信が持てずに家庭にいる状況だったりがあるが、理由も再認識せずに学校へ登校させると、自殺の原因にもつながる可能性があるということで、多面的に考えてその生徒の立場に立ったアプローチをかけていきたいと思いました。たのしい授業の実践を通して学ぶことの楽しさを再認識させてもらったと同時に確かな学力についての本当の意味を考えるきっかけになりました。二日間ありがとうございました。
2	小学校	仮説実験授業として「虹は七色か六色か」「光と虫めがね」を子ども心に返って体験できたのが楽しかったです。小さい頃「虹は七色」と教え込まれたまま、よく考えもせず思いこんでた自分がいた事実気づかされました。子どもたちにいつも「みんなちがってみんないい」と言っている自分なのに、いろいろなものの見方があることを虹一つにとっても具体として例示して考え合っていなかったのかもしれないと思いました。二学期から授業するのがまた楽しみになりました。自分自身もわくわくドキドキしながら、子どもたちと楽しむ授業をつくっていききたいと感じた二日間の講義でした。ありがとうございました。
3	その他	本講座を受講して感じたことは、これからの子供たちにとって「生きる力」のヒントを考えることができた二日間でした。人間は、みんな同じ、そのままの自分でいい、力まず自然体でありたいと思う先生の考え方は、今後の教職生活のなかでぜひ自分でも実践していきたいです。
4	中学校	今回の講習は、「子どもの権利」というものについて改めて考えてみる機会となった。「義務教育」の「義務」という言葉への認識が変わったし、ものの見方は、何通りもあるのだということを感じさせてくれた。とはいえ、まだまだ、従来通りの考え方をがらりと変えて…というわけにはいかないが、もう少し、子どもの気持ちにより添うことや気持ちを分かろうとすることを心がけていきたい。「生きる力を育む」という言葉が、気になって受けた講習であったが、「生きる」のなかに「楽しい」を含むこと、それは授業でも同じ、「楽しくすること」と「自分も」楽しくなることを実践していきたい。
5	小学校	内沢さんの講義はとても面白く、とても興味深いものばかりでした。講義前に行われる恒例のベルチャイムや講義中の実験はとても面白く大人も夢中になりました。イジメ問題では、鹿児島でもこのような残虐な行為があったのだととても胸が痛くなりました。子供のイジメにいち早く気づき、どのような対応をしなければならぬかを再度認識することができました。人間の命を粗末にはいけない、子供の命は教員が守ってあげなくてはならないと痛感しました。内沢さんから教えていただいたことを活かしていきたいと思います。本当にありがとうございました

6	小学校	内沢さんの講義はとても興味深いものでした。これからの子供たちとの関わりを考えさせられました。教師自身が楽しみながら過ごすこと、不登校に対する前向きな考え方など、私にとって大きな収穫でした。 貴重なお話、そして楽しい講義をありがとうございました！
7	その他	とても楽しい講習で、今後の保育で役立てたいと思いました。
8	その他	楽しい講義でした。ありがとうございました。
9	小学校	会場について(だいたいよいの理由)座席背もたれの事です。汗でぬれたまま背もたれにこしかけると木の汁が衣服にうつっていました。何人かの先生の背中がそうだったので何かしらの連絡があると大変助かります。内沢さんの講義はすごく楽しかった。マスコミ・地域にたたかかれがちでしょんぼりとなっていた私に大きな自信を与えてくれる講義となった。ありがとうございました。
10	その他	“ああ面倒くさいなあ”“仕方ないなあ受講しなくっちゃ”と渋々受講しましたが、たっちゃんの講座はそんな受け身な気持ちを変えさせる力がありました。受け身ではなく、次は？次は？そして？そして？と気持ちが先へ先へと関心を持っている自分に気づくのに時間はかかりませんでした。今まで研修をしていないわけではないのですから、自分が自分から楽しんでいなかったことにも気づきました。【周りを大切に作る知恵】大いに反省です。自分の理想を真っ向から主張しそれが叶わないと子供側に立つということもしていました。たっちゃんのまねをしてみます。また、不登校のことやうつ病になる多くの同僚のことを心底理解できないまま、自分も同じと思わないままでした。《まあどっちに転んでもOK》これからの人生楽しく生徒に関わっていく意欲満々です。がんばらずに予想・仮説を立てて実験を楽しもうと思います。人の言うことを鵜呑みにせず(もちろんたっちゃんの言うことも)『自分が自分の主人公』となるための実験を繰り返そうとも思います。自分はダメだときっぱりと認めて。ハリウッド映画の主演女優になったつもりで。本当に本当にありがとうございました！！たっちゃんとの出会いに大感謝！！！！！！！！！！！！！！！！
11	高校	教師として、子どもたちが求める教育とはどのようなものか、また豊かな人間を養うために自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断させるためには、どのようにしたらよいかなど学校教育のあり方について内沢先生の実践的な楽しい授業やたのしい生徒指導の実際を多数例示していただき充実した講義であった。また不登校の問題など、否定的にみる見方を変えていないことも問題であることを認識し、ものの見方、考え方次第で人間は、自信と意欲につながることを今後子どもたちにも教え、内沢先生の「たのしく学びたのしく生きる」の題材集を活用し、生徒指導に役立てていきたいと思っています。

12	高校	<p>「生きる力」を育むこれからの学校教育という内容から、もっと難しい内容なのかと思っ ていましたが、内沢先生の楽しいおもしろい授業に引き込まれ、時間もあっという間に 過ぎ、今後の教員生活を送る上でのヒントをたくさんもらえた気がします。特に不登校 に対する考え方は共感しました。物事を一面的ではなく多面的に考え、ものの見方・考 え方を少し変えるだけで、自分自身も気持ちの面で楽になり、自信を持ってできるよ うな気がします。今ガチガチな部分もあるので、自分自身にもう少しゆとりを持って、生徒 達と接していけたらいいなと思いました。そして、自分の教職人生を主人公として楽し みながら「生徒のために」ではなく「生徒の立場で」考えて行動し、学校で「生徒達と一 緒に気持ちよく過ごす」ためにはどうするかを考え、指導していけたらと思う。プラト ン作成や皿回しなど本当に楽しい時間をありがとうございました。「楽しい授業」で生 徒の意欲や自信を育てる事ができるように、たくさんの選択肢をいただきましたので、 工夫し頑張りたいと思います。</p>
13	小学校	<p>2日間の講習は、実験やおもちゃの紹介等もあり、分かりやすくとても楽しい講習で した。あっという間に2日間の講習が過ぎ、まだまだ講習を受けてみたいでした。不 登校についての「不登校は悪いことではなく、むしろ良いことだ」という考え方は、今ま での自分では思ってもみなかった考え方でしたが、共感できる場所が多く、私の教育 観を変えるものでした。ところで、学力定着の在り方については、内沢さんの様な指 導法で、小学生特に低学年が力(特に算数)が付くのか疑問です。もし、今力が付か なくてもいいんですよ。やりたくなったら頑張れば良いなどといわれると、次の学年で は取り返すことがとても困難で、学力不振児となってしまいます。結局学校嫌いになる のではないかと心配です。「自分が主人公になる。」と言うことは、教員という仕事が 好きなので、毎日が忙しくても充実しており、分かる気がします。いじめの講義は、す ごくショックでした。あのような事件が起きないように、いろいろなことで児童に目を配 り、また、普段から全ての児童に語りかけ話しやすい雰囲気を作っておくことが大切だ と感じました。また、休んだり気になったことがあったら保護者と連絡を取り合っ て、子どもの変化を速くキャッチするようしたいと思います。内沢さん講義は、自分にと ってあたらしい教育観を教えていただき、とてもためになりました。2日間、本当にありが うございました。</p>
14	小学校	<p>子どもにとって何が一番必要なのかを考えさせられた二日間でした。興味・関心・意 欲の湧いてくるような楽しい授業に取り組むことで、自然と子どもは勉強を好きになり、 教師との距離も近くなり、生徒指導も空回りせずすむのだなあと感じることでした。 私自身が人生の中で主人公であることこそ、子どもたちにとってすばらしい教育でもあ るんだなあと感じることでした。また、物事を一面からだけ見るのではなく多面的に 見ることの大切さ、これは私の人生の大きな礎になりそうです。ありがとうございました。</p>

15	小学校	<p>「自分が自分の主人公」というお話は、これからの私の人生においてとても重要なことの一つになりました。自分自身のことを考える時も、子どものことを考える時も関わった人のことを考える時も原則として忘れないようにしたいです。内沢さんのお話は、物の見方考え方を変えることがいかに大切か、実際に体験して目に見えて分かるというところがすごいと思いました。どんなことも、情報を集めたり、仮設実験等をしたりすれば真実がわかるのだと、うれしくなりました。また、少し発想を変えるだけで視点を変えるだけで、気持ちが楽になり、勇気がわいてくることも実感しました。とても硬かった私の頭が少し柔らかくなった気がします。「勉強は習慣でするものではなく、興味・関心や必要に応じてするもの」は衝撃的でした。子どもたちにいかに興味・関心の湧き上がる教材を提供できるか、ここに力を注ぎたいです。これまで、「生きる力」とは単なる学力ではないと思いつつもややもやしていました。今日は、とてもすっきりしました。『「生きる力」は、興味・関心・意欲から、かかわろうとする力、工夫する力。』というお話、最高でした。さいごに、「不登校」のお話は、私にとって、難しい課題となりました。内沢さんのテキストを同僚や保護者と読み合わせ、どのようにとらえたらよいのか話し合ってみます。子どものためではなく、子どもの立場で。。。原因は追究しない。私は、笑われるかもしれませんが、韓流大好きで、「冬のソナタ」の中で「人を好きになるのに理由はありません。」というフレーズがありとても気に入ってよく使っていました。内沢さんが言われたように「気持ちに理由はいらない。」のかとつくづく確信しました。どのお話も、勇気元気が出てくるものでした。さっそく、ひとつひとつ実践したいです。これからの教職生活、「子どもと楽しむ」ことにします。ありがとうございました。</p>
16	中学校	<p>2日間の講義ありがとうございました。生活指導では、学校現場のしがらみみたいなものがあり「わかるけど、でもな～」と言うのが、正直な感想です。しかし、優先順位は、間違わずにつけていこうと思います。自分の中で整理しながら、今回の講義をこれからは活かしていきたいと思います。</p>
17	中学校	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不登校の問題やいじめの問題等今学校現場が抱えている課題またやる気をおこさせる授業の方法等充実した内容でした。 2. 毎回工夫を凝らした内容で十分でした。 3. 自分たちから考える問題等もあり、積極的に参加出来ました。休み時間等もいろんな教具で作成等をされていました。 4. 資料も使って分かりやすい説明でした。 5. ただ話をするとき、事前に予習していたシラバスとちょっと違ったりしたのです。少し戸惑いましたが、全体的には良かったです。 6. いじめや不登校など今後もし自分が直面したときには今回の講習を役立てたいと思う内容でした。 7. 学校によって取り組み方等様々ですが、自分の意見をしっかり持ちもちろん意見に耳を傾けるのは大切な事ですが、それ以上に自分の意見も大切にしながら学級経営にあたる事ができるようにすることを再認識しました。 8. 特に印象に残ったのはいかに生徒たちのやる気を引き出す工夫を教師が取り組むかということで今後の参考になりました。 9. 今後もやる気を持って講習で学んだことを積極的に取り組みたいと思います。
18	小学校	<p>教職生活を振り返ると共に新たな気持ちに取り組む契機となった。また色々な教材に実際に触れることができ児童の視点から授業を見たり感じたりすることができよかった。</p>

19	高校	内沢さんの講義を受講して心に残っている言葉は、「生きる力」の核心は、自信・意欲だ。みんな自分が自分の主人公。教育を難しくしているのは「人が人を変えよう」としているから。ものごとを一面的に捉えない。「AであってAでない」（長所は反対側の欠点によって支えられている。）「理想を掲げて妥協する」などである。成績は良いけど自信がない。創意工夫する意欲が無いというのが一番の問題であって、教師も生徒も自己肯定観が低い場合が多いということを知り、自己肯定観を育てる授業や会話が必要なのだと感じました。高校生にはなかなか楽しい授業を取り入れることはできないかもしれませんが、何かしらチャレンジしてみたいと思います。
20	高校	「生きる力」についての考え方・一面的でないものの見方・不登校についての一考え方等楽しく受講することが出来ました。「成熟社会において教職を、自分が楽しみながら生徒と関わっていく。」という考え方を受講でき今後に活かしたいと思います。ありがとうございます。
21	小学校	講義内容は、とても楽しく2日間を過ごすことができました。工夫された講義内容で退屈せず、興味深く聞くことができました。内沢先生の話聞き、これからの学校現場での不登校問題など、少し考え方を変えながら、取り組むことができそうです。しかし、理想と現実の違いもあることは確かだと思います。講義を聞きながら、ちょっと難しいな、現実にはそんなにうまく考えられないなと思うこともありました。今は、不登校はいませんが、今までのことを考えると、不登校があると、無理強いはいしなくても、やはり親のことを考えたりすると迎えに行っていました。それが良かったのか今は分かりません。また、引きこもりも同様です。引きこもっている子どもさんのいる知り合いの方に軽々しくそれでもいいんじゃないですかとは、言えません。自分の子どもも仕事をせずに家にいられたら、やはり、考えてしまいます。どうにかして、働いてもらいたいと何とかすると思います。今が全てだとは、私も思いませんが、その先にやはり、なんらかの期待をもってしまいます。でも、この年で、この講義を聞いて、刺激にはなりました。「わがままになりなさい」という先生の言葉に、すごく、戸惑います。自分を大事にするというのは分かりますが、学校現場で、自分を中心考えることはできそうにありません。子どものこと・保護者のことをやはり、一番に考えてしまいます。また、周りの先生方に迷惑をかけないように考えます。わがままが、たくさんあったら学校はどうなるのでしょうか。いろんなことを考えてこれからも現場で頑張ります。
22	小学校	2日間、楽しい授業をありがとうございました。教員としても親としても新しい考えができるような講義内容で、堅い頭が少しほぐれたように思います。これからの教員生活や人生に立ち止まった時に思い出したいなと思いました。頭にも心にも素敵な音色を響かせていただきありがとうございました。
23	高校	大変有意義な時間になりました。何と言ってもこれまでの教育的視点を180度変えられるようなお話しが多く、自分がいかに狭い世界で考えていたかを思い知らされました。これからは、もっと自分で様々な分野から視点を広げ、教育力の向上に努めていきたいと思っています。
24	小学校	様々なものの見方や考え方について深く考えることができました。できれば平日に実施してほしかった。

25	小学校	講習内容は、大変参考になりました。現在の教職の仕事について改めて考え直すよい機会となりました。
26	中学校	不登校生に対する対応の考え方や 子どもの立場に立った教育のあり方 そして子どもと良い関係を築くための「4つのしない」など 今まで考えたことがないものに溢れていました。いろいろな考え方 ものの見方 捉え方があるのだと 見識が広がった気がします。実際の教育課程に今すぐ取り入れるのは難しいと思いますが、少しずつ子どもたちに接しながら自分のやり方を見つけて 楽しい授業の構成を試みていきたいと思います。本当に勉強になりました。
27	小学校	「見方を変える」「発想の転換」この言葉が印象的でした。毎日子どもたちと向き合っている中で、「こうであるべきだ」と知らず知らずに思い込んでいるところがあったように講義を聞いていて思いました。しかし、今までと違った見方で考えることで、子どものためではなく、子どもの立場に立った考え方ができるのだと感じました。また、今回購入した題材集「たのしく学び たのしく生きる」これはずっと側に置いておきたい本の一つになりました。本当にありがとうございました。
28	高校	今回の講習で学んだことを明日からの教育活動に生かしたいと思います。
29	その他	気付き、発見、驚きが多くある、充実した2日間だった。空調が効きすぎていて、体調が悪くなってしまった。
30	高校	内沢さんの講義は、わかりやすく受講者を引きつける内容のものばかりであった。今後の授業展開の参考になった。今回の講義の内容で様々なことを得ることができた。中でも、自分自身が主人公で教職人生を生きていかなければならないことや考え方・見方を変えることによって180度ものの考え方・見方が変わることを知ることができた。私自身にとってとても有意義な2日間の講義を受講することができました。ありがとうございました。
31	幼稚園	○2日間の講義が終わりホッとしております。講義の内容は「生きる力」でしたが、話が脱線しても「生きる力」に必ず繋がっている話ばかりでした。むしろ脱線した話に興味がありました。楽しい授業でもいろんな工夫がなされてとても楽しかったです。 ○パソコンが故障してご迷惑をおかけしました。が気持ちよく対応して頂き本当にありがとうございました。感謝です。今日で最後でしたがすべてにありがとうございました。

32	幼稚園	<p>幼稚園という現場に立ち、30年以上経ちますが、今回の内沢さんの講習から人として、「生きる力」は「生きているのが楽しい」ことを、いかに私たち教師が子どもたちに伝えていくことが大切なのかをあらためて感じさせられました。この世に生まれ、言葉をやっとなし、歩き始めた子どもたち一人ひとり個性があり、それぞれの長所、短所を認めはじめてその子が見えてくるのに「この子のため！」という思いで短所ばかりに目がいき、いつの間にか長所まで見えなくなっていたような気がします。もしかすると子どもたちの「生きる力」をおせっかいなまでに弱くしていたのかもしれない。「子どもたちと一緒に、気持ちよく過ごす」「楽しく過ごす」ことは、生きる力の源なのだ気付かされました。「〇〇を楽しむ」というのは、それなりの準備を多方面から引き出し、自分の持っている知恵と工夫でさらに楽しくなり得る。こんな短い言葉ではあるが、この「楽しむ」という言葉が保育計画の中に何度繰り返してでくるのであろう。今回の講習ほど「楽しむ」の深さ、大切さの重みを感じ今までの「楽しむ」をいかに上辺だけで使っていたのか、反省しきりだ。「人が人を変えようとするから難しくなる」まずは、長所、短所その子のありのままを受け入れられる大きな心でありたいと思った。そのために『積読』をしながら自分みがきをして、いくつものポケットの中から、失敗しながらも知識やユーモア、おもしろさなど、子どもたちに伝えられる教師を目指したいものだと考える。幼稚園という、子どもたちが社会生活を送る、初めての集団の中で、その基礎である「友だちとの関係」「教師との関係」が小学校、中学校、高校とこの先、多くの問題やつまづきが起こるであろう。子どもたちが「ようちえんたのしかったな〜！」なんて思い出せるような、そんな園生活を送ることができる園(教師、人)でありたいと思う。</p>
33	中学校	<p>楽しみながら受講できました。現場ではなかなか出てこない考えに学ぶことも多かったです。不登校については「なんとかしなきゃいけない」という感覚が強すぎて、本人も周りも不幸になっているのかなあと感じます。「どちらに転んでもシメた」と考えられたら、楽に過ごせるし状況も良くなるのかもしれないね。聞いていて楽しかったし、新しい情報や知識が得られました。時間通りに進まなかったようで、感想を書く時間が短くなったのは残念でした。</p>
34	幼稚園	<p>・講習内容は、いろいろ工夫もなされ、楽しく受講できました。・運営(日程)のことなのですが、離島の者にとって講習の度に上鹿するとなると、交通費(船)宿泊費だけでもだいぶかかってしまいます。せめて、朝一便や最終便でも間に合うような日程にしたいだけだと助かります。</p>
35	小学校	<p>講座のタイトルから考えて堅苦しい講義形式のイメージがあったが、具体的な資料や授業形式の進め方は、2日間飽きるところかこれからの教職生活への希望が見えてくるようなものであった。特に「ものを一面的に見ない」「自分が主人公」という言葉は、硬直化したこれまでの自分の考え方を改めるきっかけにもなった。たとえば不登校は暗い話題ではなく、逆に明るい話題(子どもが昔よりも自己主張できている証拠)であること、自分の長所は短所によって支えられていること、などといった考えは、とても新鮮に聞こえたと、なるほどそう考えればいいのか、といった新しい世界に引き込まれたような内容であった。子どもたちの「生きる力を育む」講座だったが、自分の「生きる力」を育んでもらった気がした。参加者の感想から「自分は、これまで教職を楽しんでいたか」というものがあったが、確かに自分自身が「教職を楽しんで」いないと、子どもたちも楽しめないのではないかと気づいた。自分を大切にすることが、他人を大切にすることにもつながるのではと思った。今回の講座を受けて大変良かったと思う。内沢先生の講座をもう一度受講できる機会があるので、楽しみにしている。ありがとうございました。</p>

36	中学校	内沢さんお疲れ様でした。おかげで多様な物の見方を知り、今後の教職員生活に生かせそうです。時間どおりにいかなかったり、話がとんだりするところは、内沢さんらしさなのでしょう。それもありですね。とても親しみやすさがにじみでています。わたしもそういうふうに生きたいですね。お体に気を付けて頑張って下さい。
37	高校	自分自身の物事を一面的にとらえていた部分を指摘されたような講義でした。生徒のためという考え方ではなく、生徒の立場で考えることを大切にして、教職生活を楽しみたいと思います。2日間ありがとうございました。
38	高校	これまでの生徒との関わり方について考えさせられる講習でした。22年間の教員生活を振り返ってみてあのときはこんな言葉をかけてあげれば良かったのではないかと、ああすれば良かったのではと講習終了後考えることでした。生徒を変えようとか思ってはいないつもりでも、そんな意識でやってきたなあと思います。人はそう変わらない。登校拒否の生徒にも学校にでと来いよ。待っているからなど生徒のためと思っていた。しかし、この対応に自分自身に疑問を持つようになった。今回の講習を受講し、学校生活での生徒との接し方がかわるような気がしている。生徒も保護者も私自身もみんな自分が自分の主人公となれるようにと思います。2日間ありがとうございました。
39	小学校	2日間楽しく講習を受けることができました。もっと柔軟に考えなくてはいけなかなと、また、もっと気楽に取り組んでもいいのかなと思いました。どうしても、こうじゃなくてはいけなとか、時間が限られている等考えていましたが、発想の転換も必要なのかなと思います。これからの教職生活に少しでも生かせるといいなと思います。
40	特別支援学校	多くの先生の立ち位置があり、講義内容も変化すると思う。難しい課題が山積する現実を改めて見つめることができました。
41	高校	たいへんためになる有意義な講義で楽しめました。楽しい授業を展開するには、さまざまな準備・努力が必要とされますが、田沢さんのそういう姿勢がよく伝わりました。虹は6色か7色か？虫眼鏡を用いた授業等、久しぶりに学生にかえて、真剣に”考える”ということの楽しさとすばらしさを味わったような気がします。また楽しい中にも、教育についてさまざまな教訓が盛り込まれており、はっとすることでした。知らず知らずに自分の見方も固定化されていたのかもしれませんが。いろいろな発見があり、自分を客観的に見つめるいい機会になりました。今後この学んだことを、現場で生かしていきたいと思います。専門教科がなく何の講座にしようか迷っていましたが、教科を超えて示唆に富むこの講座を受講してよかったなと思います。ありがとうございました。

42	小学校	「生きる力」を育むためには「関心・意欲」が欠かせないことや、多面的な見方・考え方の大切さについて研修を深めることができました。今後は、「知識・理解」だけでなく、「意欲」を高めながら学習できるような授業作りを行っていききたい。これからの子どもたちへの教育を考えるうえで、教師自身(それぞれ)が主人公であらねばならないという視座はとても新鮮で、共感するとともに新たな気持ちで取り組む気持ちを高めることができました。内沢先生の提示した教材・教具・おもちゃは、子どもの関心を高めながら学習に直結するようなものだったので、活用していききたい。
43	小学校	・楽しく二日間受講することができました。考えさせられる事も多々あり、今後の教職生活に生かしていきたいと思います、二日間いろいろありがとうございました。
44	高校	内沢さんの講義はパワフルで、授業の中に遊び心を取り入れて生徒の興味・関心を引く、面白いものでした。教科書だけでなく、たまには実験や実技体験を取り入れると生徒も授業への取り組み方が、楽しく・面白いものになると考えました。今後、不登校に対する見方・考え方を改めて、生徒に対する接し方を検討したいと考えました。二日間にわたって、多くの示唆や教示、本当にありがとうございました。
45	小学校	一面的にものを見るのではなく、多面的に見ることが大切だということは、参考になった。不登校に対する対応もケースによっては違うとは思った。しかし、何がいちばん大切なのかということを考えて、教師も行動することが大切であると思った。講座名にある内容を期待していったので、それに関する内容をもう少し勉強したかった。
46	小学校	ものの見方、考え方を今までと変えることができました。いろいろな準備もあり楽しく聞くことができました。ありがとうございました。
47	小学校	ものごとを一面的にではなく、多面的に見ることについて改めて考えさせられた。長所と短所が表裏一体であること、リフレーミングのしかたなど、参考になった。
48	小学校	子どもの立場に立った考え方で講義がされましたが、なかなか現場には受け入れられないかもしれませんね。しかし、私の教育理念と酷似しており、とても心地よい2日間でした。

49	小学校	<p>2日間の講習で「人間」を見直しました。特にマッチ箱の実験では、人間って分かっているようで分かっていない部分が多いのだなと思いました。分からないはずがない！と思って挑みましたが、見事に間違えました。固有振動の実験でも人間の本质は変わらないが、感じ方は人それぞれ、ということがよく分かりました。不登校についての考え方には驚かされました。いじめからの避難方法としての不登校は大賛成です。そうできるようにしていきたいと思います。でも不登校の要因がいじめではない場合も対処は同じなのかなあとと思いました。ネグレクトなどにより、どうしても登校できない状況にある子もいます。いずれにしても、教師自身も自分を肯定し大切にしながら楽しい授業を展開していく、子供が自分を肯定しながら自分に自信を持ち、自分で判断・決定できるように育てていく、ということだったかなと思います。私はそう学びました。2日間、いろいろ考えさせてくださる「楽しい授業」をありがとうございました。</p>
50	小学校	<p>文字通り「楽しく学ぶ」講義をしていただきました。ありがとうございました。</p>
51	中学校	<p>・ いろいろな楽しい授業の題材を紹介していただきありがたかったです。2日間の講義も飽きることなく受けられました。ただ、それらの題材を、自分の担当する教科のどの単元で扱うか？考えたとき、実際に授業として取り入れることは難しいと思いました。ときどきは息抜きで楽しい事を…という余裕もありません。・ 1日目の内容は、1週間前の必修科目の時の内容と重なる部分が多かったので、他の内容が良かったなあと思いました。・ 会場に関しては、寒かったです。座る場所や個人によって感じ方は違うと思います。前回の講習で学んだので、長袖を着て更に上着を準備していきました。初めての方で、やはり寒いと言っている方が数人いたので、案内にでもあれば助かるのになあと再度思いました。・ 2日間ありがとうございました。</p>
52	その他	<p>1. はじめに: 昨年の受講者の感想(氏のHP)を見て県外から受講を申し込んだ。 2. 講習内容について: 講習においては「生きる力」に関する教育事象(課題)として、生きる基盤としての肯定的な人生観のすすめ、意欲や自信を育てる授業、教育育てること、教育に関する常識(登校拒否・いじめ)の再考、教育現場における具体的な手法(多面的に捉える)等、設定された課題は適切であった。 3. 講習方法について: 2日間という講習中、多くの講習者は講習内容について自ら学ぶ意欲を持ち続ける(飽きない・呆れない)ことができたかと推察する。その原因は、次の通り。①各課題について二元的な観点(例えば、肯定と否定)の設定②講習者の知的好奇心を刺激する科学実験とその実験教材の厳選(課題に迫る際に仕込まれた科学事象に関する「問い」は日常的且つ簡易なレベルであった)③仮説実験授業のスタイル④講習者への「予想を考えた理由」のインタビューによる認知的葛藤の社会化⑤科学実験の過程をエピソードとして記憶させ、この記憶を講習内容の1つ1つへ類推させて、受講者の理解・納得を図る手続き⑥パワー漲る語り課題(氏自身から内省する発言がありました)…: ①時間配分に難あり。最終盤、準備予定の内容は講師による要点のみの語りとなったこと(エピソードと結びつけることなく)が残念。②時間を気にされてか、発声が切迫音となる部位が度々あり、その部位が聞き取り難かった(資料を読まれる場面は除く)。③話が類似、又は関連事象に移った後、命題に立ち戻れないことがあった。今以上に体調管理に気を配られますよう。課題(事務局): ①メールでの問い合わせ(講習者の受傷による会場の椅子の具合)の回答に中2日かかった。迅速な対応をお願いしたい。②大学周辺にコインパーキングが設置してあるが、県内の来訪者で満杯になる。県外から受講する者には校内に駐車できる配慮を望む。 4. 終わりに: 氏の講義等を未体験の私には講習内容と講習方法を体験できて良かった。氏自ら「講習内容の一部は教育現場で実践し難い」という受講者の意見を披露されたが、受講者一人一人は受講内容を取捨選択し、又改変して研鑽を積みよと考える。最後に、幼稚園、小・中・高等学校の教師が講習方法の1つ1つの手続きを体験し、この体験によって得た理論と手続きを授業等に活かすことだけでもかなりの価値があると考えます。</p>

53	特別支援学校	<p>30年以上教職に就いているが、今回の講義を受けて子どもを一面的に見てはいけない、という視点を再認識させられた。子どものありようを多面的に見なければいけないことは分かっていたつもりであったが、不登校を「学校に行かない強さ」と捉えるには至らなかった。さらに、「みんなちがう」視点と「みんな同じ」視点を、実験を通して感じ取ることができ、現在担任している特別支援学校の子どもたちに重ね合わせて2学期からの指導に生かしていきたいと夢がふくらんでいった。「子どもが主人公」「保護者が主人公」「私が主人公」、「子どもの立場で」「保護者の立場で」の言葉をかみしめて今後の教員生活を送りたい。今、このタイミングで内沢さんに出会えたことに感謝します。</p>
54	高校	<p>興味関心のわく教材を全員の手にとらせてくださるなど、2日間長丁場の講義を飽きさせない工夫が随所になされていて、楽しく受講できかつ勉強になりました。ありがとうございました。</p>
55	その他	<p>2日間の受講を通して・・・ものの見方・考え方は一通りではなく、多面的に見て考えることの大切さ。また、プラス思考に変える考え方。思い込みで話したり考えたりしていることがいかに多いか。人の話をうのみにせず、自分の目で見て、確かめて納得して生きることの大切さ。「人はみんな違う(個性・・・)でも、人はみな同じ(悩みだつて、喜びだつて・・・)人間っていい」とても素敵な言葉だと思いました。等々どの講義もとても心にしみるいい講義でした。また、楽しい授業につながる具体的な教具作り・参考図書を紹介等すぐに活かせるものも多く勉強になりました。大切なことは「自分自身が子どもたちと気持ちよく仕事ができる」こと。私も同感でした。内沢さんの講義を受講させていただき、6年ぶりに学校現場へ帰りたいたいという思いがますます強くなり、楽しみになってきました。最後に、レポートを書く時間がもう少しほしかったです。もっともっと講義も聞きたかったです。ありがとうございました。</p>
56	高校	<p>ものの見方・考え方を少し変えるだけで、自分自身に自信が持てるようになったり、解決への道が見えるようになったりするのだと思いました。特に不登校のことに関しては、自分がどんなに固定観念にとらわれているのかが分かり、今回学んだことを生かしたいと考えています。今回、たくさんの道具やプリントを準備して下さったおかげで関心が高まり、理解が深まったように思います。この講義を受けてよかったです。ありがとうございました。</p>
57	中学校	<p>大学で仮説の授業を少しだけ紹介していただいたのが、20年以上前のことです。その記憶をよみがえらせてもらいました。学校現場で働いて20年近くになりますが、教師になった当初に持っていた気持ちと状況や悩みが今とは全く違うものになっているような気がしていました。ところが全く違っていることもありましたが「教師はサービス業」という言葉が今も心に残っていることもあり、変わらない大事なものもあることに気がつきました。不登校やいじめの問題深刻な問題が多々ある中で、少し考え方や見方を変える必要を感じました。何より自分自身が自信を持てていなかったことに気づかされた2日間でした。あるがままをしっかり見て受け入れていくこと何より自分自身が楽しくこの仕事をすることが必要だと思いました。</p>
58	高校	<p>会場に行くまでに案内の貼り紙はありましたが小さくてよくわかりにくかったです。鹿大生の方に教えてもらってなんとか会場にたどり着けました。2日間内沢先生の授業でしたが、新たな考え方や視点、今後の課題が見えてきました。内沢先生のような楽しい授業をめざしてやってみようと思います。</p>

59	小学校	<p>様々な実践事例について実技や演習を交えて体験的に知ることができよかった。今後の教育活動にいかしていきたいと考えることができた。また、子どもの立場にたって物事を考えられるように今後さらに研修を深めていきたい。</p>
60	その他	<p>人の見方や考え方で、良くも悪くも考えられる。一つ考えを変えると、違う一面が見えるようになり、心持が楽になる。私は、内沢さんの講義をお聞きしてそのように感じました。「みんな自分が自分の主人公！」この言葉が、強く印象に残りました。学校教育に対する考えや、子供たちの在り方に対する考えも、それぞれの立場で、考えるとおのずと見えてくるものがある。本当に新鮮な気持ちにさせていただきました。いろいろな問題と実験とても楽しかったです。予想を立てるのにドキドキし、結果を知るのにワクワクしました。わたしたち大人でも、こんな気持ちになれるのに、子供たちは、もっと、わくわくどきどきして、楽しい授業になるのだろうなあと思いました。このような授業と子供たちとのかかわりをしていけたらいいなあと思います。子供は、興味がないからしないのであって、興味があれば、自らするようになる。確かに、そうです。私も、興味のあることは、一生懸命調べたり、勉強したりしますが、興味のないことなんてしません。ただ、講義の時にもお話がありましたか、学校で、同じような考えの方がいらっしゃるといいのですか、他の先生方から理解していただけるのか不安です。以前の学校で、少し、いじめというか意地悪をされたことがあるので心配です。先生の考えが早くいろいろなところで浸透していくといいなああと切に願います。四月から、久しぶりに期限付きとして現場復帰する予定です。内沢さんから、勇気をいただきました。ありがとうございます。がんばります。</p>
61	高校	<p>2日間のたのしい講義、ありがとうございました。あっという間に終わってしまいました。講義を受けて物事の観方や考え方が変わりました。この講義で学んだことを今後、学校現場でどう活かしていけるか。ともあれ、教師として、親として少し楽になりました。自分が自分の主人公で教職を楽しめるよう頑張ります。有意義な2日間の講義、本当にありがとうございました。</p>
62	小学校	<p>具体的に教具を提示したり、豊富な資料をもとに分かりやすい、しかも「なるほど、そう考えればいいのか。」と納得する講義とても勉強になりました。授業書の紹介は、7～10年前のもの(一種免許講習)と重なっていたものもありましたが、再度、楽しい授業の研究をしていこうと意欲を喚起させるものでした。「自分が自分の主人公」「教職を楽しむ」という言葉からパワーもいただきました。不登校に対する自分の考え方も再度見つめなおしていこうと思います。</p>
63	その他	<p>今回の講習は非常に為になりました。当初は先生に言われていることがよく分からず、また納得いかない点もあったのですが、徐々に先生の言われていることが分かるようになりました。特に心に現在残っているのは、セブンイレブンで「顧客のために」が禁句になっているということでした。「顧客に立場になって」確かに「生徒のために」と自分がとった行動が本当にそうであったのか。「生徒の立場になって」と考えると、もっと別の対処の仕方があったのではないかと思います。ありがとうございました。別の講座でもよろしく願い致します。</p>

64	中学校	<p>「生きる力」ということをテーマに講習して頂きましたが、「教育に携わる教員としての心構え」、「不登校」、「いじめ」と多岐にわたって勉強させていただきました。特に知覧中での「いじめ」は、あれほど大きな事件であったにも関わらず、私自身ほとんど知らず、改めて衝撃を受けました。なぜこのようなことを周りが止められなかったのか。でも私自身も、これまで経験があったのに気づかなかったこともあるかもしれません。また、「不登校」は良くないという考えを、今回の講習で改めました。今回の講習を今後の教育活動に生かし、肩の力を抜きながら、生徒に接していきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
65	小学校	<p>学ぶことは楽しいことだと、身をもって実感できた講習でした。今回の講習でもなされていた工夫を私も取り入れながら、子どもたちが楽しいと思う(自分も楽しめる)授業をしたいと思っておりました。また、不登校や現状で抱えている諸問題について、新たな視点を持って考えられるようになりました。ありがとうございました。</p>
66	その他	<p>講師の内沢さんが、皿回しやプラトンボ、コロコロリング等々たくさんの教材、授業書を用意して色々な発想や考えを持ち、また実際やってみて始めてわかることを実感させてくださいました。何でも人からの情報をうのみにするのは、本当の知識としては役に立たないことが多い、自分から行動し発見し実感することがいかに自分の知識として生きてくるかそれが生きる力を育み方だと実感できました。幼稚園教諭として色々な発想や考えで色々なことを自分から発見をし自分でやってみるようにならなければ、一緒に遊び、過ごしていきたいと思っておりました。教師の立場でまた親の立場で聞けたとても良い講習でした。ありがとうございました。</p>
67	中学校	<p>本講習を受けて、学校だけで過ごす、どうしても視野が狭くなってしまいがちなので、学校現場以外の方からの考えを知ったり、別の視点から教育を見る機会を得ることも大切だと感じた。また、個人としての自分と、教職という職業について、改めて考え直す時間を持つことができたことも良かったと思う。日々の教育活動に追われるだけでなく、このような自分を振り返り、磨いていくための時間もこれから積極的に取り入れたいと思う。</p>
68	その他	<p>教職から離れており、2人の子供の子育て中の母親です。ものの考え方を色々な角度からみるということを考えさせられる講義でした。様々な例や言葉を挙げてお話しして下さって、とても分かりやすかったです。また『学校に行きたくない』と言った時の教師または親としての対応、、、勉強になりました。『子供は学校に行くもの』という考え方が180度変わりました。子供の立場にたって考えること、私は自分の立場に立って、子供のことを考えていることの気が付きました。絶対にそうしないといけないってことはない！！いい加減がよい加減で生きていけたら、人生気楽でいいのかなと思っておりました。</p>
69	中学校	<p>今回の講習で教育に関わる視点を別の角度で考えることができました。特に「たの授」では生徒の興味関心を引き出すような仮説実験授業のやり方など、聞いていて生徒達も目を輝かせて取り組むはずだと思っておりました。また講習では内沢さんが拳手を求め、その理由等まで先生方にお聞きして、受け身的な講習から参加型の内容でとてもおもしろかったです。ここまでの準備等、本当にすごいと感心しました。やはり興味関心を引き出すような道具を使うことで授業も盛り上がるものです。自分も効果的な教具等の提示を研究していきたいです。楽しい講習ありがとうございました。</p>

70	中学校	興味・関心もてるように資料や教材が準備しており、大変楽しく受講することができました。講義も大変ためになるものとなり、違った視点から自己の考えを見直すことができました。ありがとうございました。
71	その他	離島からの受講は費用や仕事の都合の負担が大きいと感じた。ネットを利用した受講等も検討いただけると助かります。受講した感想は、自分の振り返り反省したり考えさせられたりいろいろでしたが、これからの教諭としての自信につながりました。講習で得たことを活用しながら頑張っていきたいと思えます。ありがとうございました。
72	小学校	アンケート遅くなってすみません。楽しかったです。初めのうちは、考えは分かるけどちょっと現場では通用しないかなとも考えたのですが、今現在不登校になっている家庭のことを考えると、無理はしなくてもいいのかなとも思うようになりました。機会があったら保護者とも話しが出来たらいいなと考えています。今、特別支援学級の担任をしているのですが、のんき・根気・元気でほどほどに、でも子どもたちと共に生活していこうと思います。
73	その他	大変有意義で感謝している。自分は比較的生徒寄りの柔軟な教員のつもりでいたが、どれほど価値観の押しつけをしてきたかを思い知らされた。貴重かつ多くの資料・題材を有難く拝読し、(勿論そのすべてを理解できたなどとおこがましいことは思っていないが)自分なりに解釈し実践を決意した。講習後、「互いに自由。互いに尊重」「押しつけまい、急ぐまい」「そのままよい。腹も立たない」等と意識しながら生活し、すでに一週間になるが、驚くほど穏やかに気持ちよく過ごせている。積読すべく本も手に入れたし、これからの人生(子育て)も楽しみでならない。内沢さんはじめ講習運営に携わった方々に深く感謝している。本当にありがとうございました。